

一生つき合いたい“最愛の一脚”と出会う! 究極の椅子カタログ

# ELLE DECOR

新連載

皆川 明  
「ミナ ペルホネンの  
言の葉・物の木」

イームズ、ネルソン、サーリネン…etc.

ミッドセンチュリーの  
名作と暮らす家

JAPAN  
The World's Leading  
Design & Lifestyle Magazine

インテリアの達人と選んだ

## 美しい椅子 120

一点突破主義で夢の住まいを叶える  
“わがままリノベ”のすすめ

2015年春夏コレクションから探る  
ファッション×インテリアの最前線

ベッドまわりで悩み解決!  
エル・デコの「快眠案内」

4 エル・デコ  
no.137 April 2015

# Leather Chairs

レザーの質感に包まれて、ハイレゾの世界を堪能する



上質なレザーチェアなら  
こちらをチェック!



## アイーダ

1981年に設立された、イタリア北東部のモイマッコに本社を構える家具ブランド「プロス」のチェア。繊細にシェイプされた、バックレストのラインは随一。(W48×D52×H90cm)9万2,500円



## エモジオーネ

絶妙なサポート感は、アームレストとバックレストがつながるシームレスなデザインの賜物。このエルバ社のチェアは、ゆったり深く腰かけてくつろぐのが正解だ。(W60×D59×H79cm)12万6,000円



## フィール

ドイツに本社を置くKFF社のカンティレバーチェア「フィール」は、飽きのこないミニマルな佇まいで人気のモデル。洗練されたダイニングを目指すなら覚えておきたい。(W46.5×D56.5×H87.5cm)11万円

ボルトローナ・フラウのレザーチェアに身を預けて、ハイエンドなオーディオを楽しむひととき。同社の最上級のレザー“ベレ・フラウ”の質感が、レザーチェアの魅力を雄弁に物語る。シアタールームにも引けをとらない、上質でマニアックな時間が流れていく。

イタリアのデザイン賞の最高峰、コンパッソ・ドーロ賞を1954年(初年度)に受賞した「DU30」。このモデルをボルトローナ・フラウが復刻し、2014年のミラノ・サローネで発表された。デザインを手がけたのは、ジオ・ボンティとも交流のあったガストン・リナルディ。チ

ェア「DU30」(W50×D55×H82.5cm)各18万円  
同じくボルトローナ・フラウのテーブル「パリオ」は、ルドヴィカ&ロベルト・パロンバ夫妻のデザイン。(W210×D91×H74cm)74万円 ハイキャビネット「カルラ」(W110×D45×H139cm)25万7,000円 オブジェを入れたボウル(φ37cm)6万円 テーブル左端のコーヒーカップはKEN OKUYAMA DESIGN。彼の出身地、山形の特産品リングがモチーフとなっている。コーヒーカップ「リング」(W10×D7.7×H8cm)3,800円/以上IDC大塚家具 ヘッドフォンアンブ「E1」150万円/RE-LEAF